

天然杉の群生する杉山（大江山山系） 泉州労山 古江 忍

『やまなかま』（泉州労山、8月号）より転載

日 時：2019年6月26日（水）

天 候：晴れ

参加者：大西清見（L）、栃尾智子（SL）、野口達子、吉村由美子、古江忍

コースタイム：三国ヶ丘駅 6：50＝（阪神高速、中国・舞鶴自動車道）＝旧大江山スキー場 10：00…

古代杉 12：06…宇野ヶ岳 13：22…杉山 13：58…林道 P15：22＝帰阪

前日まで雨予報でしたが当日は晴れ、大西さんの車で京都府宮津市大江山系の杉山へ向かいました。待ち合わせ場所の旧大江山スキー場には、上宮津杉山ガイドの方が3人も来られていました。

杉山林道を歩き始めるとすぐに「あれはウリハダカエデ、キブシ、ヒョウガミズキ、オオカメノ木、紫式部、ヤブニッケ、カマカツ、シロモダ、黒モジ、リョウブ、サルトリイバラ、マルバマンサク、山イバラ、ネズミサシ、ホウの木 etc…」と樹木の名前の由来や花が咲く時期、実がなった…と教えてくださいました。そのたびに立ち止まり花や実の付き方、葉の形などを観察してメモを取りました。メモを取ってもすぐに忘れて何度も質問をするのですが、丁寧に教えてくださいました。

観察しているときに「ヒリヒリヒリ～」と鳥が鳴くと「サンショウクイです」、尾根を歩いて蛇に出くわしたら「あれはヤマカガシ、カエルを丸飲みしている。毒があるので、そ～っと そ～っと」とすぐに答えが返ってくるガイドさん。三人目のガイドさんからは柚子はちみつで煮た梅や大福餅、今川焼、冷やしキュウリ、お菓子などたくさんのおもてなしをいただきました。ガイドさん達が木や花などについて語るときの表情はとても楽しそうで、杉山の自然を大切にされているのだな～と感じました。

杉山はカンラン岩や蛇紋岩という特殊な地質で、そこで育つ杉の根っこは岩の隙間を縫うように地中にのび、2～3mあたりで何度も伐採された杉は“あがりこ”の様相を呈した迫力ある姿に成長したそうです。古代杉はその形相から「出船杉、美女杉、バンザイ杉、キリン杉、弁慶杉、千手観音杉、天狗大杉・・・」など色々な名前が付いていました。

急な岩の斜面を登り山頂へ。宇野ヶ岳からの宮津湾展望は雄大で遥かに天橋立も見えました。お土産に立派なガイドブックや杉山の四季の絵はがきをいただき、ガイドさんたちとお別れした後、温泉に向かいましたが、残念なことに定休日でした。

今回の山行では古代杉だけでなく、春から夏にかけて開花する花、秋の紅葉、雪の大江山系…四季折々の魅力を教えてくださいました。リーダーの大西さん、参加の皆さんありがとうございました。



杉山の巨木杉群のひとつ、古代杉



天橋立をバックに宇野ヶ岳で記念写真